

# ワイス WAICE NOW

Wadayama Association of  
International Cultural Exchange

わだやま国際文化交流協会

事務局 朝来市市民文化部和田山地域振興課  
朝来市和田山町東谷 213-1  
TEL 079-672-6137  
FAX 079-672-1334

## 第31次 内モンゴ教育視察団を派遣

会長 垣尾 幸博

### ◆春の内モンゴ自治区呼<sup>ふ</sup>和<sup>ふ</sup>浩<sup>ほと</sup>特<sup>と</sup>市<sup>と</sup>で交流◆

桜が咲き始める3月下旬、会員8名で訪問団を結成し中国内モンゴ自治区呼<sup>ふ</sup>和<sup>ふ</sup>浩<sup>ほと</sup>特<sup>と</sup>市<sup>と</sup>を訪れました。1988年に交流が始まり、29年目を迎えています。事務調整のための訪問を含めると第31次の訪問となりました。

内モンゴ自治区教育基金の楊曼（ヤンマン）常務副会長兼秘書長、呼<sup>ふ</sup>和<sup>ふ</sup>浩<sup>ほと</sup>特<sup>と</sup>民族学院の格<sup>ぐ</sup>日<sup>に</sup>乐<sup>れ</sup>图<sup>と</sup>（ゲリラト）学院長をはじめ多数の関係者に大歓迎を受けました。

教育基金会では「友好宣言書」の調印を行い、今後も継続した交流を約束しました。また、呼<sup>ふ</sup>和<sup>ふ</sup>浩<sup>ほと</sup>特<sup>と</sup>民族学院では、これまで、わだやま国際文化交流協会が延べ60人の日本語研修のための学生や日本語学科の教員を受け入れたことに対し、学院長から感謝の言葉をい



内モンゴ自治区教育基金会と友好宣言書に署名

いただきました。また内モンゴ民族師範学校、内モンゴ専科学校への変遷を経て、現在の呼<sup>ふ</sup>和<sup>ふ</sup>浩<sup>ほと</sup>特<sup>と</sup>民族学院は15学部8,000人を超す国立大学となっている実情が紹介されました。

平成28年度に来日する研修生の面接選考も今回の目的の一つです。大学から推薦された5人の学生が面接に挑みました。日本語学習に対する意欲が高く、甲乙つけがたい優秀な学生でありましたが、例年通り2名ないし3名を選考する予定にしています。

今回は、以前来日した研修生で、卒業後、現地にある日系企業に勤務している胡<sup>こ</sup>俏<sup>せう</sup>（フォーチャオ）さん、和<sup>わ</sup>晓<sup>せう</sup>洁<sup>けつ</sup>（ホーシャオジェ）さんとも出会う機会がありました。過去に朝来市で学んだ日本語を生かして、社会人として活躍していることを伺い、大変うれしく感動しました。

私たちの小さな草の根の国際交流活動が一層広がり、深まることを願っております。今後もわだやま国際文化交流協会の活動に対しまして、更なるご支援、ご理解を賜りますようお願いいたします。

なお、3月下旬に寺澤均副会長さんが他界されました。長年にわたり協会へ多大なるご貢献を賜りましたことに感謝申し上げますとともに、心からの哀悼の意をささげ、巻頭のご挨拶とさせていただきます。



内蒙古自治区の教育庁にて

## ◆内蒙古自治区教育基金会を訪問◆

内蒙古自治区教育庁の庁舎内にある内蒙古自治区教育基金会を訪問し、今後の交流について協議を行いました。

サマースクールを開設し、朝来市の小学生が内蒙古自治区の草原を体験する事業、またその逆に内蒙古の小学生を朝来市に受け入れる事業などを行ってはどうか、という提案がありました。旧和田山町の区域だけではなく、朝来市全体に交流の輪を広げてください、というアドバイスもいただきました。その後、友好交流の宣言書にお互いに署名をしました。

### わだやま国際文化交流協会と 内蒙古自治区人民教育基金会 相互の友好関係について

わだやま国際文化交流協会と内蒙古自治区人民教育基金会は、これまで友好関係を深めるため様々な事業を行ってきました。この伝統的な関係を未来に引き続き、さらに発展させていくことが重要です。

今後も教育、文化、福祉、環境など各分野の交流事業を推進し、お互いの草の根交流から日中友好に寄与することを約束します。

わだやま国際文化交流協会

サイン: 垣尾 孝博

2016年3月24日

内蒙古自治区人民教育基金会

サイン: 楊

2016年3月24日

## ◆呼和浩特民族学院にて◆

呼和浩特民族学院では、平成28年度研修生の面接と授業見学を行いました。また参加者の越智靖さんに日本の福祉事業について紹介していただきました。

元研修生の参加も多く、懐かしい話に花が咲きました。



呼和浩特民族学院の  
格日乐图学院長に記念品  
を渡す垣尾会長  
(左写真)

同封している朝来市中国版のパンフレットは、本年度の留学生が訳を見直してくれました。

相互に友好関係を約束しました

呼和浩特民族学院関係者の皆さん(右写真)本年度の研修生を始め、平成24年度の研修生だった伊丽娜(イリナ)さんも訪れてくれました。束の間の懐かしい時間を過ごすことができました。





## ◆上海・蘇州視察◆

内蒙古自治区での予定終了後、上海・蘇州を視察しました。上海市は常住人口2,400万人を超え、市内総生産は45兆円と言われている北京を凌ぐ中国最大の都市です（2012年6月時点ウィキペディアより）。多くの高層建築物が軒を連ね、都市の喧騒が街を覆っています。夜には遠くまで続く街路樹のイルミネーションが、行き交う人々を照らしていました。

「豫園」という明の時代の庭園と、狭い迷路のような路地裏に多くのお店が並ぶ「田子坊」という場所を見学しました。どちらも多くの人で賑わっていました。



豫園から上海の市街地を臨む 写真左は上海タワー

蘇州市も人口1,000万人を超える大きな都市です。上海から高速鉄道で西に30分ほどのところにあります。「蘇州夜曲（昭和15年）」という歌の舞台になったので、日本人にも良く知られています。このたびの視察では、古くからの風情が残る旧市街地の運河と、「蘇州夜曲」の歌詞にも登場する「寒山寺」、そして斜めに傾いた塔があることで有名な「虎丘」を訪れました。

時間の都合で運河は橋の上から見ただけでしたが、小舟に乗って探検したくなるような風景でした。



東洋のベネチアと言われる蘇州の運河

## ◆研修生を訪ねて◆



胡俏（フーチャオ）さん

視察中に、平成19年に第17次日本語研修留学生として朝来市にお招きした二人の元研修生と出会い、話を聞くことができました。

胡俏（フーチャオ）さんは、カジュアル衣料品ブランドである「ユニクロ」の商品開発をする部門にお勤めです。新商品の材料となる生地を選び、商品の品質管理をする仕事をされています。出張で各地を飛び回っておられます。

和晓洁（ホーシャオジェ）さんは、「トヨタ自動車」の研究センターでお勤めです。関連業者との調整や財務に関する仕事をされています。お二人とも学生時代に学んだ日本語をいかして、日系の一流企業で活躍されています。日本語研修生として朝来市に滞在した経験がとても役に立ったことや、今でも大切な思い出として心に残っていることなどを話してくれました。



和晓洁（ホーシャオジェ）さん





平成28年度日本語研修生候補者面接の様子

### ◆ 団員からの感想 ◆

初めて参加させていただきました。内モンゴルと交流していることは知っていましたが、このように長く、内容の濃い交流が続いているということを知らず、とても驚きました。

今はスマートフォンやパソコンで簡単に連絡を取り合うことができますが、実際に皆さんとお会いし、直接顔を合わせてお話をするのは伝わるものが違うと思います。今後は事業に協力していきたいと思っています。(足立 三佐雄)

今回の訪問で、研修生として和田山で勉強し、現在は日系企業に就職している二人に出会うことができました。この日本語研修事業を長く続けてきた中で、このように習得した日本語を生かして仕事をしている方がいらっしゃることは、この事業に関わってきた者として大変うれしく思いました。今後もこの活動を続けていくうえで、大きな励みとなりました。

また、呼和浩特市では、たくさんの旧友と再会し、同時に新たな友人ができました。わざわざ仕事を休み、朝一番の電車で会いに来てくれた元研修生もいました。スケジュールの関係でゆっくり話をする時間が持てなかったことが心残りです。次回は、ゆっくり時間をとって旧交を温めたい、そう願っています。(山田 稔)

▶モンゴルミルク茶の実演



## 平成27年度のご加入ありがとうございました

平成27年度は個人会員51名、団体会員9団体にご加入いただきました。次のとおり団体会員をご紹介します。(敬称略、五十音順)

(株)アース建設・朝来市商工会・(株)阿野建設・(株)コスモ・但馬重機(株)・ビジネスホテルてつや  
藤原印刷所・(有)松下看板・馬庭内科医院

### ◆ 平成28年度 会員を募集 ◆

昭和63年に創設された「わだやま国際文化交流協会」も本年で29年目を迎えます。多くの皆様に支えられ、中国内モンゴルからの日本語研修生招へい事業やアメリカニューバーグ市との中学生交流事業を続けてきました。子どもたちの国際理解教育へのご支援、そして絶やしてはいけない草の根交流事業に対してご理解をいただき、現会員の方、そしてより活動を充実させるため新たな会員の方の加入について、ご支援ご協力をよろしく申し上げます。

個人会員5,000円/年      団体会員 10,000円/年

会員の方には、「WAICE NOW (協会会報)」の送付や「協会主催の国際交流事業」への参加案内をさせていただきます。